

内閣 官房長官 表彰

荒 由利子（福島県推薦）

勤務先：福島県双葉郡双葉町大字新山字広町80〔福島県立双葉高等学校〕

高齢者、障害者等が自尊心
講評 を持ち、豊かな人生を送ること
ができるような環境づくり
を目指して、教職について以降30年以上にわたり、生徒や地域住民の心のバリアフリーを推進するなど積極的に活動している。

具体的には、高校教諭という立場を生かし、生徒はもちろん、家庭や地域の住民なども巻き込みながら、使いやすい生活用品の発明や高齢者等へのボランティアの実施、まちのバリアフリー実態調査に基づくバリアフリーロードマップの作成や歩道等のバリアフリー整備に対する協力など、幅広い活動を実施している。生活用品の発明では、そのアイデアが企業の商品に取り入れられたものが複数あり、また、まちのバリアフリー実態調査では、高齢者等が街中を歩く際に気軽に休憩できる場所がないことに着目し、店先に簡易な椅子を設置するよう商店に働きかけを行って協力を得るなど、社会・地域のバリアフリー化に影響を与えている。こうした活動は、同教諭の指導のもと家庭クラブ等の活動の場を通じ生徒を中心に実施されたものが多いが、そのような活動が評価され、同教諭の赴任校が全国高等学校家庭クラブ連盟研究会発表会で最優秀賞（文部大臣賞）を5回受賞するなど、高い評価を受けている。

なお、これまでの赴任地においては、同教諭の転任後も、こうした活動が継続して実施されており、バリアフリー化への活動の輪が着実に広まっている。



店先への椅子の設置

